

# かえる便り 30年度9号

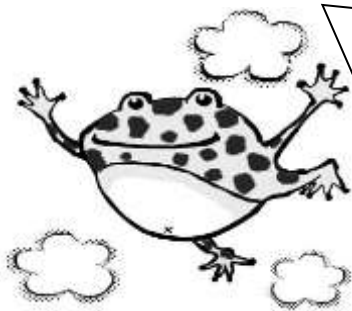
平成30年6月4日

向暑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今回の総体は組合せに恵まれたことに感謝しています。負傷のため長くチームを裏方で支えてきた部員、能力は高くないけれども真面目に取り組む3年生を表舞台に出すことができたからです。目標を達成することは叶いませんでしたが、現時点の力からすれば健闘したと思います。

“運”を得たいと思うのであれば、与えられたことを一所懸命に行うことが重要だと思います。人は人により成長するのです。だから、運が良い人の行動・先人の考えから学ばよいです。それでも失敗はありますが、分析すれば自分を伸ばす材料が見つかるはず。成功者は多くの失敗をしています、失敗から多くのことを学んでいると思います。また、成功するまで努力をしています!!

やれなかったのでは ないんだな やらなかったんだな (みつを)



有名人には“ファン”がいますが、一般人であっても“ファン”はいますよね。サッカー部・部員個人を取っても存在していると思います。真面目で見てくれるそのような人を大切にしていると、更にそのような人が増え繁栄するのではないのでしょうか? そのためにも与えられたこと・しなくてはならないことに対して誠実に向き合いたいものですね!!

誰しも試合や試験が近づくと取り組み方が真剣になります。それはそれで大切なことではありますが、己を伸ばすには日々の小さな失敗や成功を分析・反省し、解決策等を考え努力を継続することが必要です。また、目標達成のためには、逆算して課題を一つひとつ克服することも重要です。“少しでも自分を高めたい”という思いの強さは、日々の行動(努力・反省の質)に表れると思います。

保護者の皆様や先生方、エントリーされなかった部員の力強い応援は相手の大応援団に負けていませんでした。力強い応援や心温まる差し入れありがとうございました。また、元勤務校の教え子や保護者の方からも差し入れをいただきました。今大会を通じて感じたことは、選手の態度・マナーがよかったことです。彼らの爽やかさに技術・体力を高め、誰もが称えてくれる勝者になれるよう最善を尽くしたいと思います。